

砂丘をもっと豊かな滞在の場に！

立場を超えて考えあう

▶ 上質化事業の実現に近づく！

vol. **2**

具体的な施設とターゲットを意識しながら議論は後半戦へ

第2回目の上質化ワーキンググループ会議（以下、WG 会議）が 10 月 16 日午後に行われ、行政や事業者の方々合わせて 13 人が参加されました。嬉しいことにオプザーバーとして新たに 3 人の方が同席され、少しずつですが砂丘の場作りに対する熱意の広がりも感じられます。今回の目玉は、3つのテーマについて考えや意見を出



各テーブルでは密度の高い意見交換が行われました

し合うテーブルワーク。参加者が3つのグループに分かれ、1時間の短い時間の中、とても密度が高く具体的な提案や課題解決のアイデアのやり取りが行われました。テーマごとにどんな議論があったのか、どうぞじっくりお読みください。

県議会でもこの WG 会議についての質疑がありました

WG 会議の冒頭、林座長から9月の鳥取県議会で行われた代表質問と知事の答弁が紹介されました。上質化事業を砂丘の活性化の大きなステップと位置づけ、既存施設の機能見直しやアウトドア活動の場の連携について、県知事から今後検討を行ってゆく旨の答弁があり、この WG 会議の成果に対する注目がますます高まっています。

第2回 WG 会議の議論の的は <サイクリングターミナル>へ

第1回 WG 会議をうけ、砂丘の利用拠点を東側エリアに1カ所、西側エリアに2箇所、設けることを前提に、西側の現サイクリングターミナル（市管理）の将来像と周辺施設の役割や関係について、今回は重点的な議論を行いました。なかでも、歩行者動線のネットワーク整備や新しく計画されている「西側ビジターセンター」のあり方が関心の的に。



テーブルごとに意見交換の内容を発表しました



地図は多くの意見で埋め尽くされました

テーマ1：東側のまちなみをもっと魅力的にしたい

電線の地中化の話題も出るなか、歩道から砂丘の姿を眺めにくく、いくつもある砂丘への入口に来訪者を導く方法を考えるべきという意見も出ました。建築の外観を統一するのは難しいが、歩道際に沿って人の居場所やテラスを連ねて賑わいを創り出すといったアイデアも出ています。

テーマ2：西側サイクリングターミナルの場所に相応しい役目とは + 新しいビジターセンターとの関係を考える

西側のアウトドアレジャーやサービスに対するワンストップの情報提供を求める声が大きく、また E-Bike のレンタルサイクルへの期待も高かったようです。飲食機能がゴルフ場にしかない現状を懸念する意見や、ホテルとは異なるターゲットのゲストハウスのような宿泊機能を求める意見も出ました。ビジターセンターは、ガイドツアーの拠点や砂丘の歴史や文化を伝える場として期待されています。

テーマ3：西側エリアの歩き心地をもっとステキにしたい

宿泊滞在のできる場所づくりのためには、夜間照明も含めた安心できる歩行環境づくりが必要だという声が強く出ました。また、こどもの国、サイクリングターミナル、休憩舎と西側ビジターセンターを歩行者動線でつなぐ必要性も指摘されました。防犯カメラなど、安全への配慮も求められます。

次回の会議の内容

上質化事業のメニューに沿って、東側・西側エリアそれぞれの特色や将来像を踏まえた整備のコンセプトや考え方について意見交換を行う予定です。

参加者が提案し、計画をつくり上げる場になってゆきます！

次回第3回会議開催のご案内

日時 11月14日(木)
13:30～15:30
場所 鳥取砂丘ビジターセンター
上質化事業に関心のある事業者の方お待ちします。オブザーバー参加を希望する方を歓迎します。

問合せ・参加申込み先

鳥取市観光経済部
観光・ジオパーク推進課
TEL: 0857-30-8293
FAX: 0857-20-3947
E-mail: kankou@city.tottori.lg.jp
担当: 米澤、谷島まで